

「よなご住んで楽しいまち づくりファンド」を通じた支援

2022年2月、米子市、米子信用金庫と協働して「よなご住んで楽しいまちづくりファンド」を設立しました。

「よなご住んで楽しいまちづくりファンド有限責任事業組合」の設立



空き家・空き店舗などの遊休不動産を活用する事業者を支援することで、まちの魅力向上につなげていくことを目指しています。

対象エリア：中心市街地（米子駅～商店街～角盤町、米子城跡・城下町）、皆生温泉、米子港周辺、淀江

「新商都米子」のまちづくり

古くから交通の要衝であった地の利を活かし、商業が発達してきた米子市では、「コンパクトなまち」と「充実した交通基盤」を整備するまちづくりに取組んでいます。中心市街地と、郊外の拠点となるエリアを交通基盤で結び付け、一体的な活性化を目指しています。

第1号案件 事例紹介

米子市元町通り商店街の薬局を活用した「goods & café みつくす」

2022年2月に出資を行った第1号案件では、株式会社GOODGROW（代表 亀井 智子）のカフェ・小売・レンタルスペース事業を支援しました。

米子市元町通りにあった旧「稲田薬局」の空き店舗を活用した同社は、2022年4月に「goods & café みつくす」をオープンしました。

建物の1階でカフェとギフトショップを運営し、2階は地域のイベント等で活用できるレンタルスペースを提供することで、幅広い世代の人が集まる店舗へとリノベーションされました。



Before



After



オープニングセレモニーの様子



地元の個人事業者による商品の委託販売



イベントに活用できるレンタルスペース